



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第 316 号

平成 30 年 6 月 21 日（木）

発行 税理士法人 KJ グループ
〒536-0006 大阪府野江 4 丁目 1 番 6 号
TEL : (06) 6930-6388
FAX : (06) 6930-6389

顔認証&キャッシュレス決済でコンビニ無人化 ハウステンボスにみる小売業の「未来図」

宿泊客の対応を受け付けロボットが行うなど、先進的な取り組みを実践しているハウステンボスの「変なホテル」。5 月には、館内に無人の「スマート・コンビニ」をオープンさせた。NEC の顔認証技術を活用し、利用者は「顔登録」後に入店。店舗を出るときにも顔認証を行わないと解錠されない仕組みで、無人運営を可能にした。商品決済はクレジットカードで行うキャッシュレス方式なので、釣り銭を手渡す手間もない。こうした顔認証とキャッシュレス決済を組み合わせたコンビニエンスストアは全国初登場だという。

今回の無人店舗はホテル内の一施設としての性格があるため、それほど大きな話題にはなっていないが、今後の小売業の経営を考えると、イノベーティブな事例になる可能性は高い。

大手コンビニ企業も、軒並み人手不足に頭を悩ませているが、その解決策として期待できる。「24 時間・365 日営業」が日本のコンビニの大きな特徴だが、維持には 1 店舗平均で 20 人程度の人員が必要だとされる。だが、スタッフ不足は深刻で、最近外国人のアルバイトの確保も難しくなっているという。今後、社会的に人口が減少していく中、人手不足は慢性化する懸念がある。すでにスーパーマーケットでは「セルフレジ」の導入が増えているように、「無人化店舗」導入の波は、コンビニ業界だけでなく小売業全般に広がっていくのではないだろうか。